



TEMAIRAZU

2021年6月期（第18期）

決算説明資料

目次

2021年6月期 決算ハイライト	2 ページ
2021年6月期 事業報告	11 ページ
2022年6月期 業績予測と事業展開	22 ページ

1 決算ハイライト

1 2021年6月期 決算ハイライト

1 決算概要

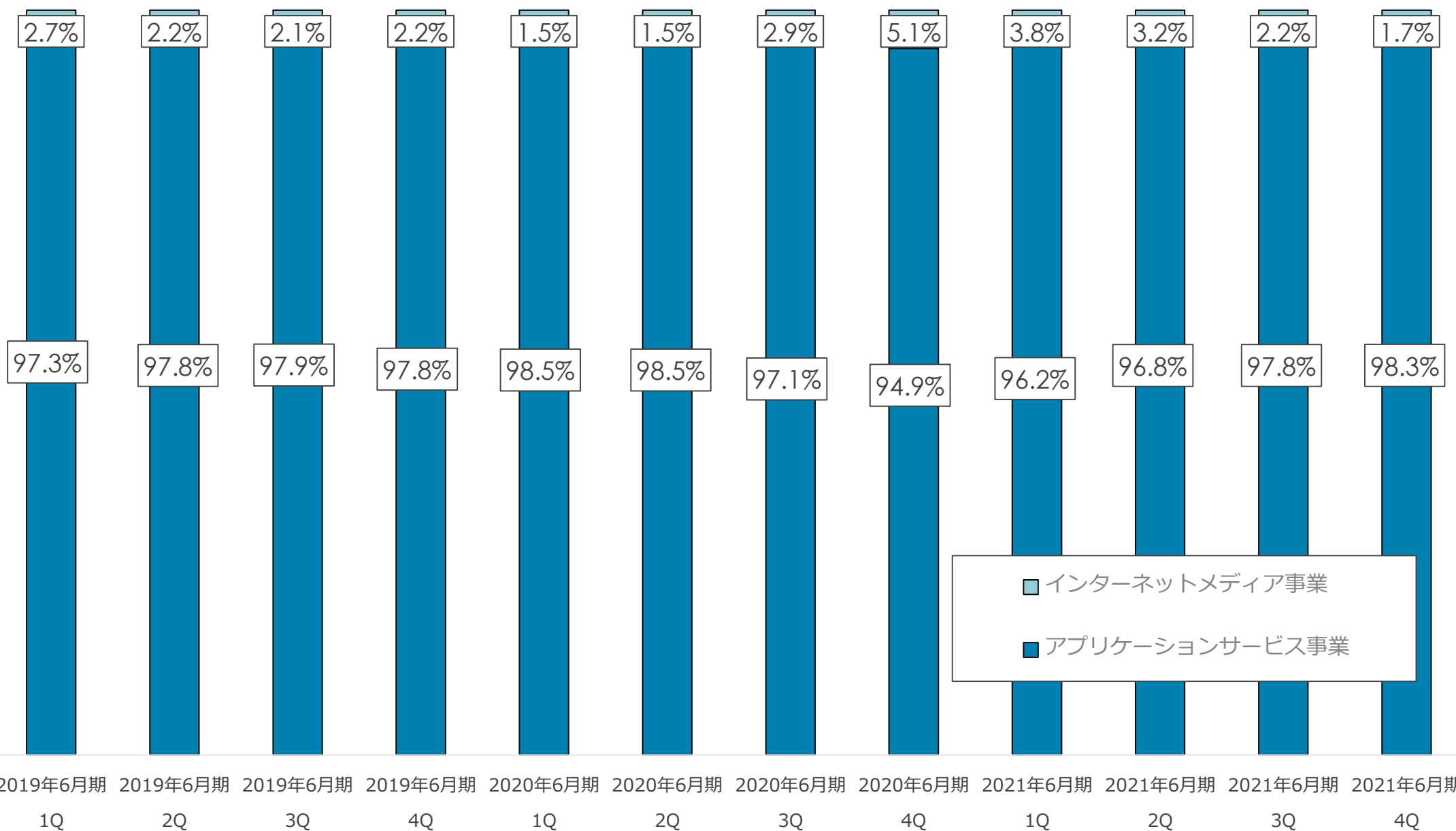
売上高：前期比 **2.4%減**

営業利益：前期比 **1.7%減**

	2021年6月期		前年同期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	実績	売上高 利益率			
売上高	1,610,382 千円	—	1,650,002 千円	△39,620 千円	△ 2.4%
営業利益	1,144,273 千円	71.1%	1,163,733 千円	△19,460 千円	△ 1.7%
経常利益	1,147,529 千円	71.3%	1,164,832 千円	△17,303 千円	△ 1.5%
当期純利益	758,413 千円	47.1%	767,463 千円	△9,050 千円	△ 1.2%
1株当たり 当期純利益	117円6銭	—	118円47銭	—	—

1 2021年6月期 決算ハイライト

2 売上高構成比の推移



1 2021年6月期 決算ハイライト

3 セグメント別売上とセグメント別利益

アプリケーションサービス事業は前年同期比で若干の減収減益となり、
売上高利益率は71.6%

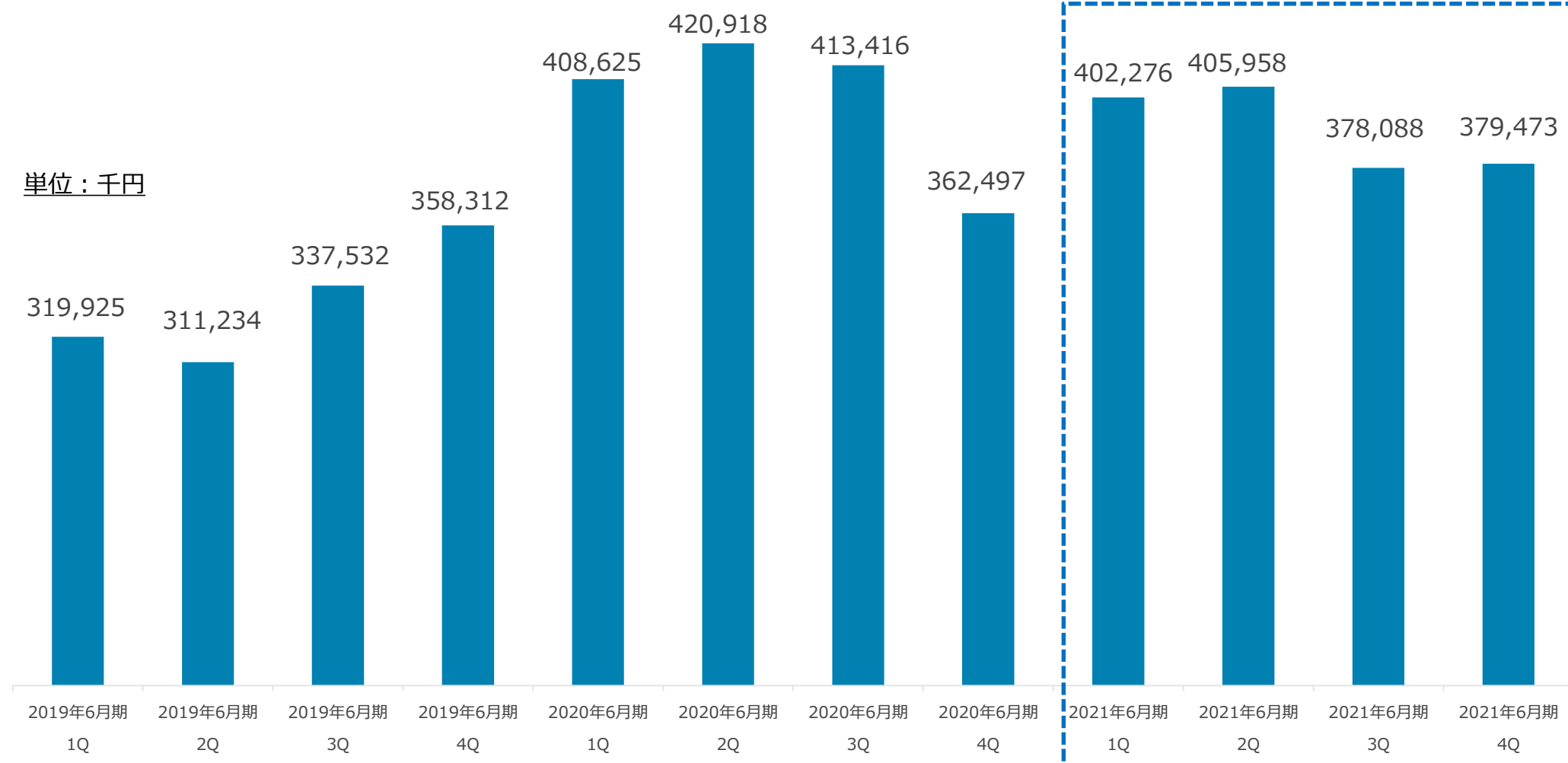
インターネットメディア事業は増収減益となり、売上高利益率は50.9%

	セグメント売上高	セグメント利益 (全社共通費配賦後)	売上高利益率 (全社共通費配賦後)
アプリケーション サービス事業	1,565,797 千円	1,242,814 千円 (1,121,561千円)	79.4% (71.6%)
インターネット メディア事業	44,585 千円	27,202 千円 (22,711千円)	61.0% (50.9%)
調整額	- 千円	-125,743 千円	-
合 計	1,610,382 千円	1,144,273 千円	71.1%

1 2021年6月期 決算ハイライト

4 アプリケーションサービス事業の売上高推移

前年比：-2.4%



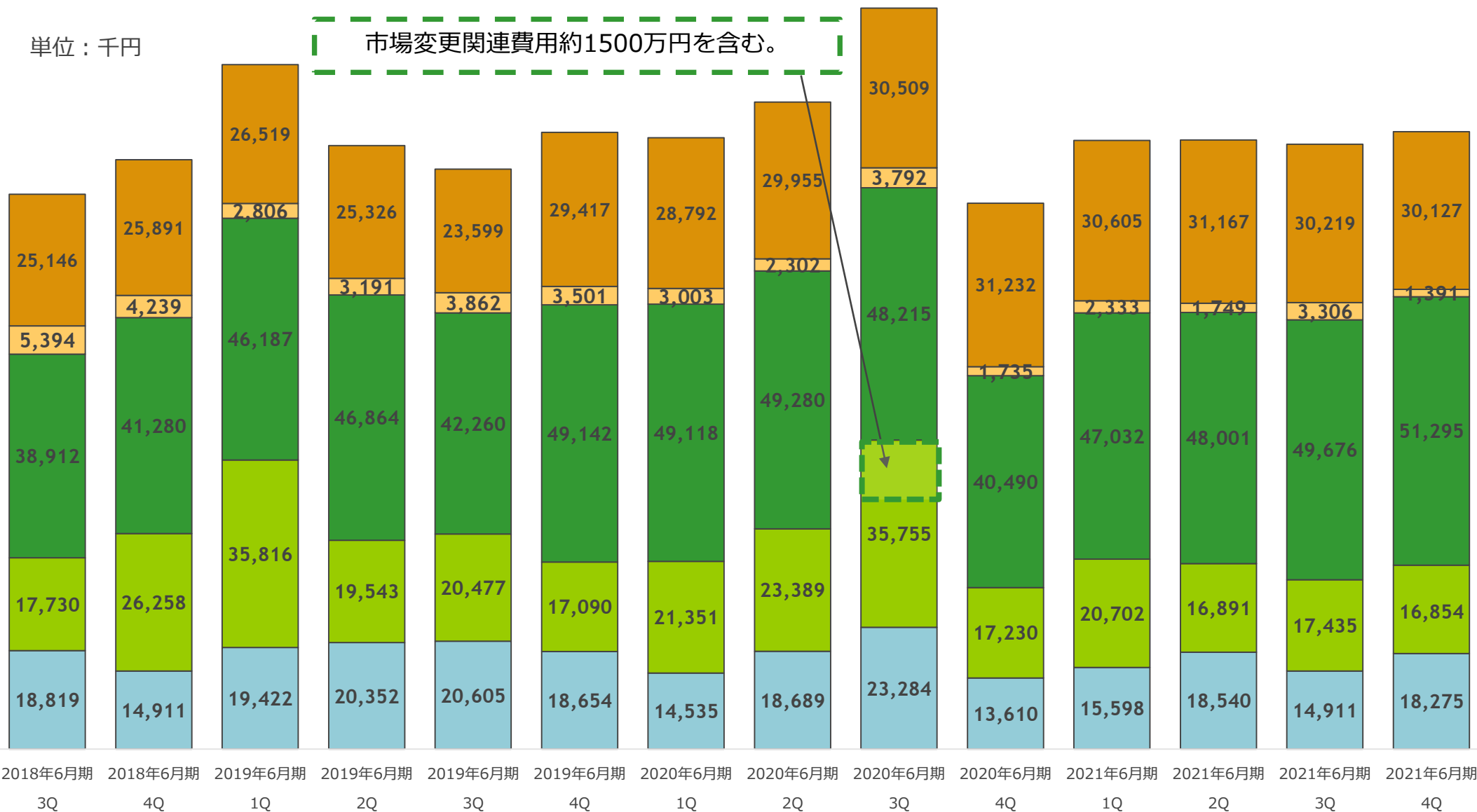
1 2021年6月期 決算ハイライト

5 売上原価及び販売管理費の内訳



単位：千円

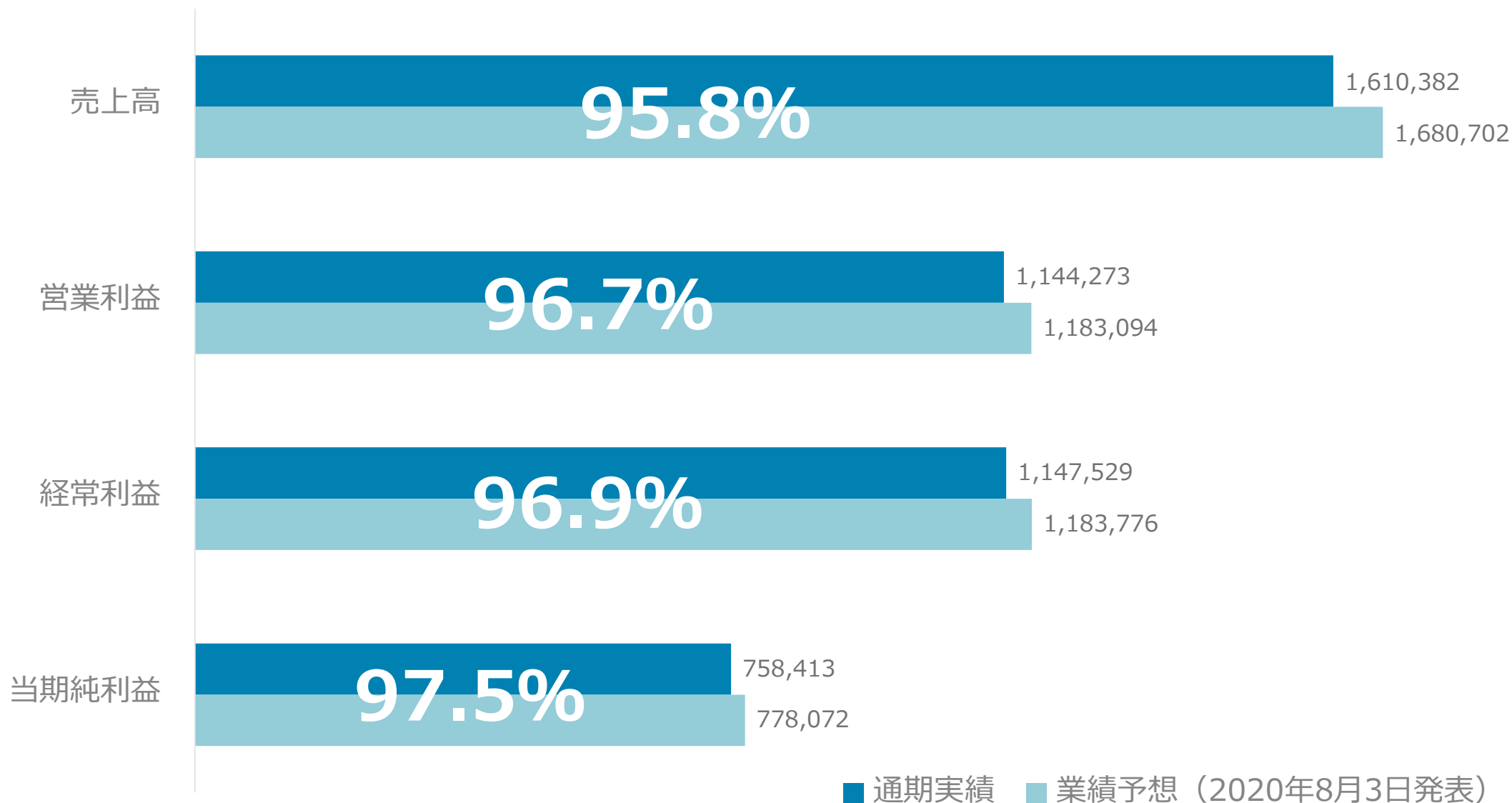
市場変更関連費用約1500万円を含む。



1 2021年6月期 決算ハイライト

6 通期業績予想に対する実績

(単位：千円)



1 2021年6月期 決算ハイライト

7 貸借対照表

	2020年6月期	2021年6月期	主な増減要因	
現預金	3,971,358 千円	4,484,099 千円		+512,741千円
その他流動資産	247,869 千円	253,184 千円	売掛金	+5,006千円
固定資産	68,124 千円	61,211 千円	長期前払費用 繰延税金資産	△3,950千円 △2,082千円
資産計	4,287,353 千円	4,798,494 千円		-
負債	392,509 千円	316,632 千円	未払法人税等	△38,570千円
純資産	3,894,843 千円	4,481,862 千円	当期純利益	+758,413千円
負債・純資産計	4,287,353 千円	4,798,494 千円		-
自己資本比率	90.8%	93.4%		-
ROE (自己資本当期純利益率)	21.2%	18.1%		
ROA (純資産経常利益率)	29.4%	25.3%		

1 2021年6月期 決算ハイライト
 8 キャッシュ・フロー計算書

	2021年6月期末	主な増減要因	
営業CF	689,669 千円	税引前当期純利益 法人税等の支払	1,147,529千円 △423,023千円
投資CF	△1,898 千円	固定資産の取得	△1,898千円
財務CF	△175,030 千円	配当金の支払い	△174,552千円
CF増減額	512,741 千円	-	-
CF期首残高	3,971,358 千円	-	-
CF期末残高	4,484,099 千円	-	-
フリー・キャッシュ・フロー	687,771 千円	-	-

(注) フリー・キャッシュ・フローは、営業CF+投資CFで計算しております。

2

事業報告

1 セグメント別事業概要

アプリケーションサービス事業



TEMAIRAZU

宿泊予約サイトコントローラー
『TEMAIRAZU』シリーズの
開発・提供

国内の宿泊施設に対して予約サイトを
一元管理する宿泊予約サイトコントローラー
『TEMAIRAZU』シリーズを開発・販売する。

インターネットメディア事業



比較サイト『比較.com』の運営

顧客誘導サービス

広告主のウェブサイトへユーザーを誘導し、成約件数に
応じた手数料収入を得る。

情報提供サービス

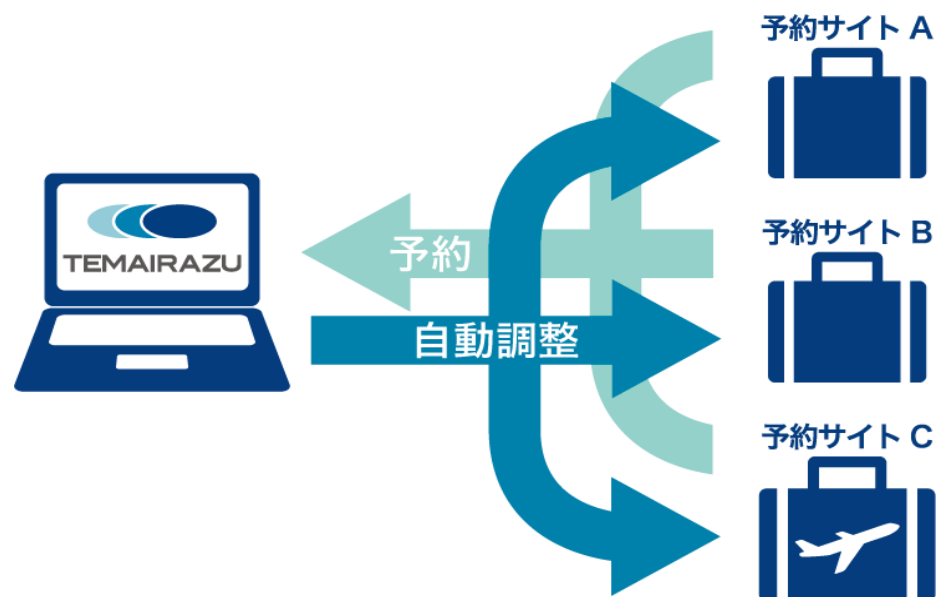
保険や引越しの各種見積もり・資料請求等に応じた手数
料収入を得る。

広告

バナー、テキスト、記事コンテンツ等の広告を販売す
る。

2-1 アプリケーションサービス事業の事業報告

宿泊予約サイトコントローラーとは、複数のオンライン予約サイトの情報を一括管理するサービスです。販売チャネルの拡大による収益の向上と宿泊施設の予約業務の効率化による運用コストの削減が図れます。



複数の宿泊予約サイトも 操作一つで簡単管理

在庫や料金の管理を一括で行い、面倒な管理業務から解放。宿泊予約サイト管理の業務フローを統一化し、管理コスト削減。

スピーディー&自動更新で オーバーブッキング抑止

予約情報の取得を行う間隔が短く、素早い在庫調整が可能。急な予約が入った場合でも、一括で各宿泊予約サイトの部屋を手仕舞い可能。

インターネット接続 できる環境があればOK！

インターネット経由での使用のため、施設・本部等場所を問わず管理可能。専用サーバでの情報管理のため、故障等による急なPCの買い替えでも同じアカウントで利用可。

2-2 アプリケーションサービス事業について

『手間いらず!』サービス開始

予約サイトコントローラ

手間いらず!



新型予約サイトコントローラ

『手間いらず.NET』誕生

新型予約サイトコントローラ

手間いらず.NET
T E M A I R A Z U



施設様と共に進化し続ける

『TEMAIRAZU』へ

TEMAIRAZU 手間いらず.NET 2
TEMAIRAZU 手間いらずmini
TEMAIRAZU YIELD

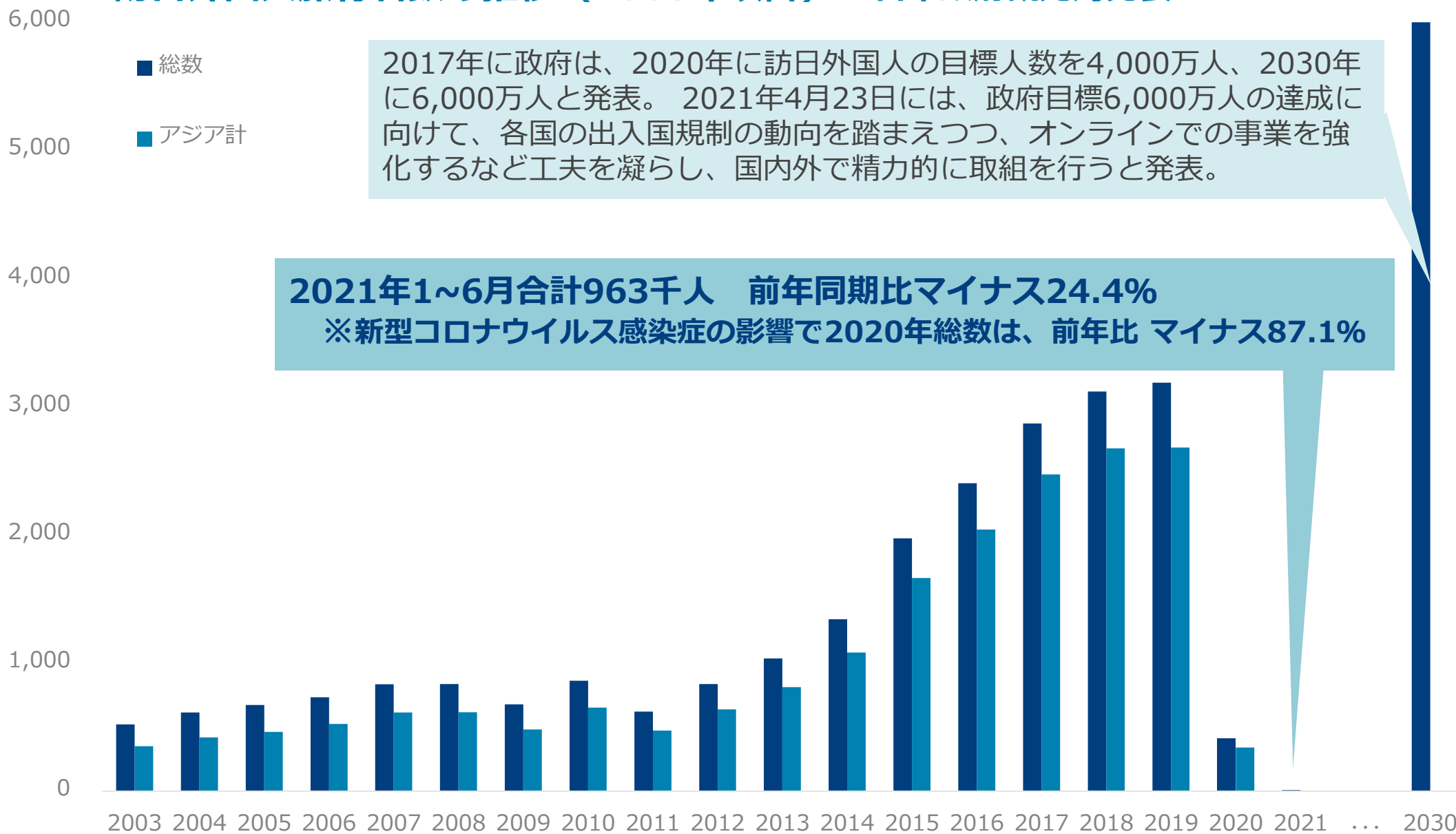
2002年、オンライン宿泊予約サイトが出現してインターネットでの予約が始まって間もなく、インストール型アプリケーション予約サイトコントローラ『手間いらず!』は誕生しました。複数の宿泊予約サイトを一元管理できるシステムは、多くの施設様に御利用されてきました。

2010年にはASP型の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』が誕生し、インターネットに接続する環境であればどこでも予約管理ができる便利さで、今まで以上に有用性の高いシステムとなりました。国内の宿泊予約サイトはもちろん、自社宿泊予約システムや海外宿泊予約サイト・ホールセラーとの連携も多数対応し、PMSとの連携やリアルエージェントの予約情報の連携もできるようになりました。さらに、CRSとの連携も可能となり、インバウンド集客にも有効なシステムとなりました。

現場で働く皆様からの貴重なご意見等を賜り、様々な機能追加や改善を行い、2015年に新生『TEMAIRAZU』として、また2016年7月から、さらに進化したシステムを宿泊施設様に提供が開始いたしました。そして2020年3月には新バージョン『手間いらずmini』をリリース。これからも宿泊施設様とともに『TEMAIRAZU』はあり続けます。

3-1 アプリケーションサービス事業の事業報告

訪日外国人旅行者数の推移（2003年以降） 日本政府観光局発表



新型コロナウイルス感染症の影響

アプリケーションサービス事業における売上の構成：

- 月額固定収入（月額基本利用料やオプション利用料等）
- 月額変動収入（予約数に応じた通信料等）

影響：

- 月額固定収入
 - 施設の閉館、廃業による解約等の発生による減収
- 月額変動収入
 - 予約数の大幅な減少による減収

業務効率化を支援するためのシステム連携

株式会社ゴールドバリュークリエーションと株式会社ユナイテッドコーポレーションの共同開発による
リモートチェックインシステム『Smart Front MujInn』

クイッキン株式会社のチェックイン機能をベースとしたOS『aiPass』

NBSホテルマネジメント株式会社のRMS『ANDPLUS』

株式会社リクルートのRMS『レベニューアシスタント』

国内宿泊予約サイトとの連携強化

株式会社トラベルウエストの予約サイト『TRAVEL WEST』

株式会社百戦練磨の予約サイト
『STAY JAPAN』

メトロエンジン(株)とBEENOS(株)の長期滞在専門予約サイト
『Monthly Hotel』

ジャンボツアーの北海道や沖縄、離島に強い予約サイト
『JJ tour』

Auコマース&ライフ株式会社のショッピングサイト
『au PAY マーケット』 『LUXA』

株式会社vivitのキャンプ場予約サイト
『Hinata spot』

インバウンド需要回復時に向けての取組み

日本国内初
インフォアジャパン株式会社のプロパティマネジメントシステム
『Infor HMS』と連携

オーストラリアを拠点とするRMS社プロパティマネジメントシステム
『RMS Cloud』と連携

セグメント利益（全社共通費配賦後）



前年同期比 △1.0%

新型コロナウイルスの影響

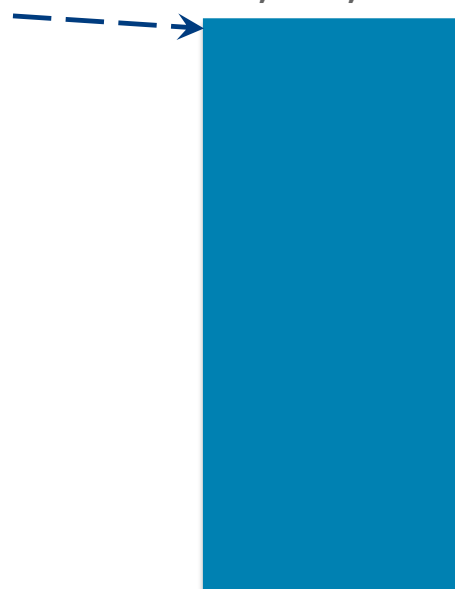
- ・ 小規模施設の撤退や閉館が続き、月額固定収入が減収。
- ・ 宿泊需要の大幅な減少による予約数の減少で月額変動収入が減収。
- ・ 海外の渡航制限の長期化により、インバウンド予約が回復しなかった。

1,132,362



2020年6月期

1,121,561



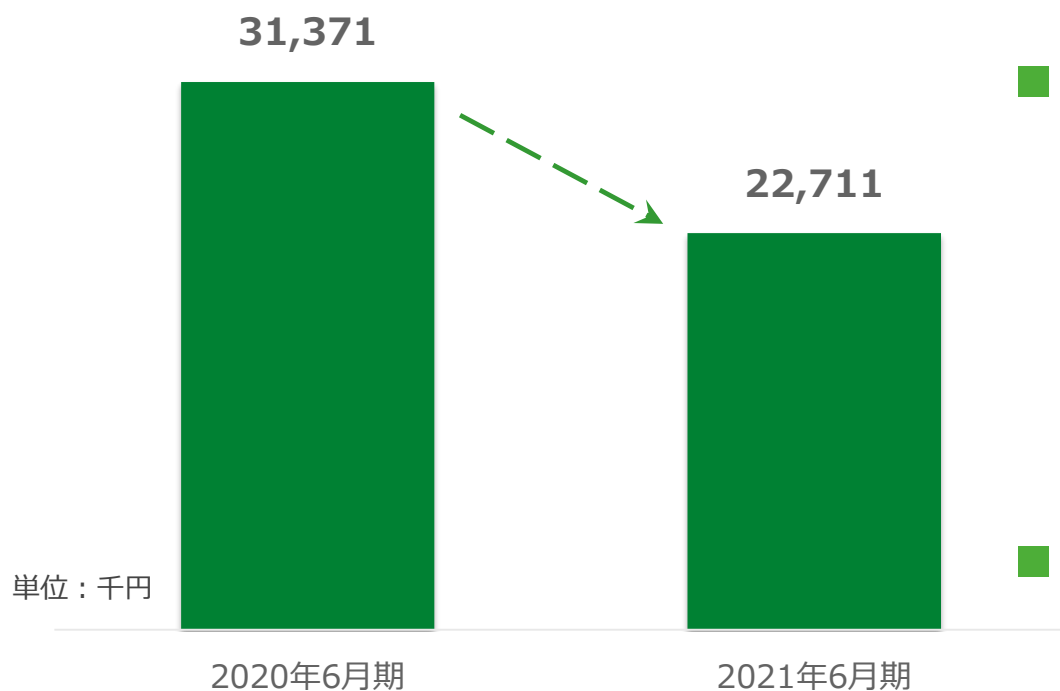
2021年6月期

単位：千円

セグメント利益（全社共通費配賦後）

比較.com HIKAKU.COM

前年同期比 △27.6%



- 以下対策の継続的な実施
 - ・ 広告出稿の見直し
 - ・ 検索エンジン最適化
 - ・ ユーザーインターフェースの改善
 - ・ モバイルユーザビリティの向上
- システム改修を起因とする利益減

3 業績予想と事業展開

3 2022年6月期業績予想と事業展開

1 アプリケーションサービス事業の今後の事業展開

新型コロナウイルス感染症の影響

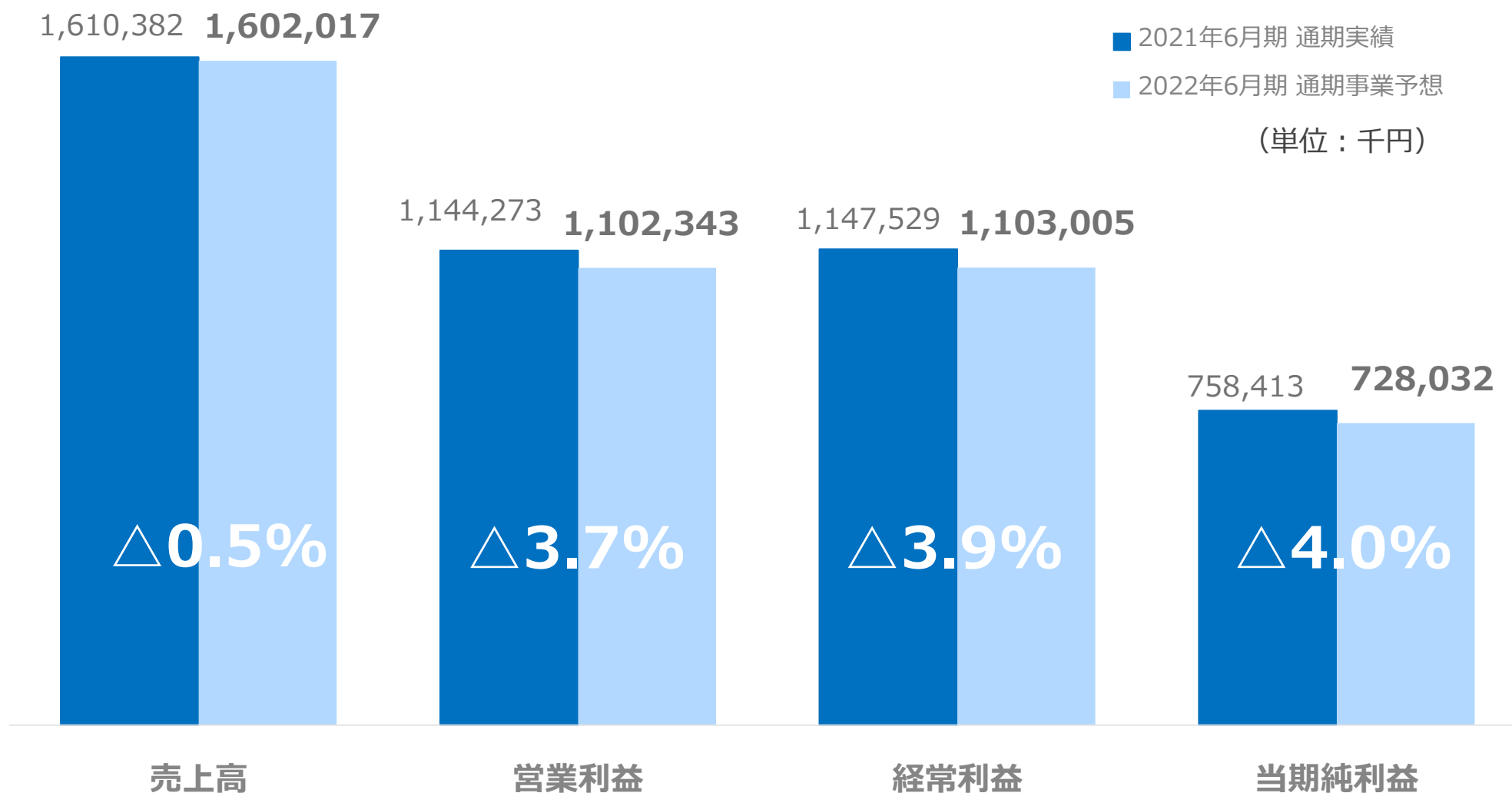
宿泊旅行業界全体としては、2023年の夏頃には感染拡大前の水準に戻ると予測。

感染者数の増加も続いており先行き不透明感が強いことから、当面は弱い動きが続くと見込んでおり、売上高および営業利益については、この前提で予測しています。

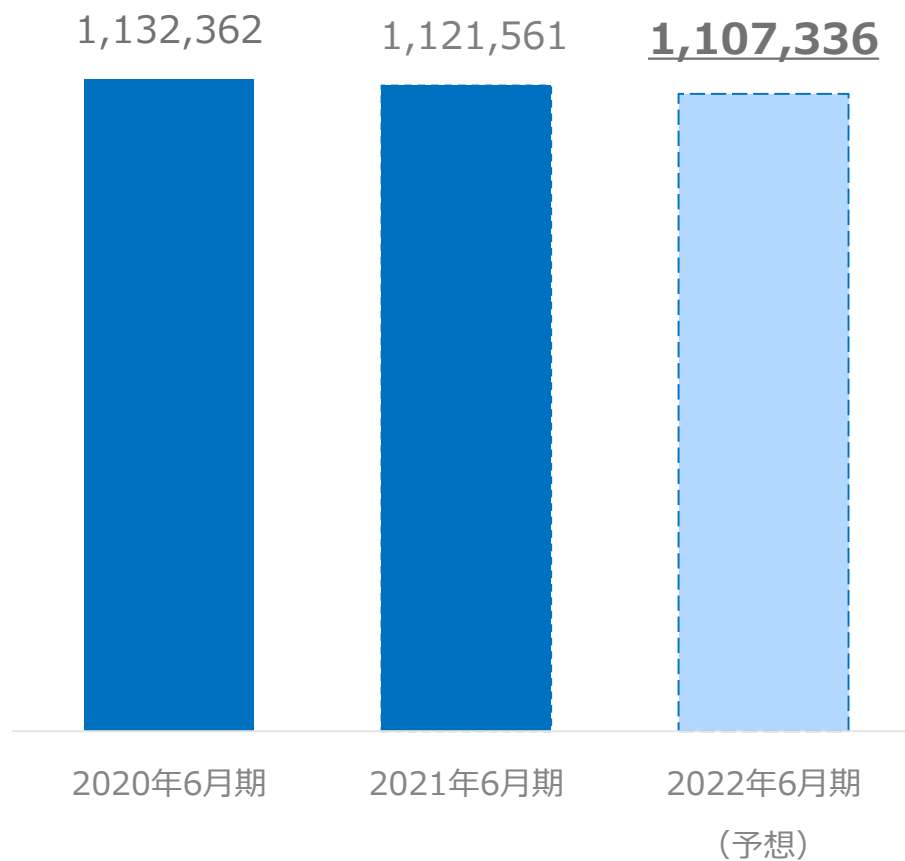
3 2022年6月期業績予想と事業展開

2 業績予想

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を加味した予想



セグメント利益（全社共通費配賦後）



前期比
△1.3%を予定

(単位：千円)

3 2021年6月期業績予想と事業展開

4 アプリケーションサービス事業の今後の事業展開

- コロナウィルス終息後に向けた宿泊施設へのサポート
- 宿泊施設の収益確保に繋がる、さらなる拡販と業務効率化に貢献できる製品をめざす

販売チャネルとの連携

多様なシステムとの連携

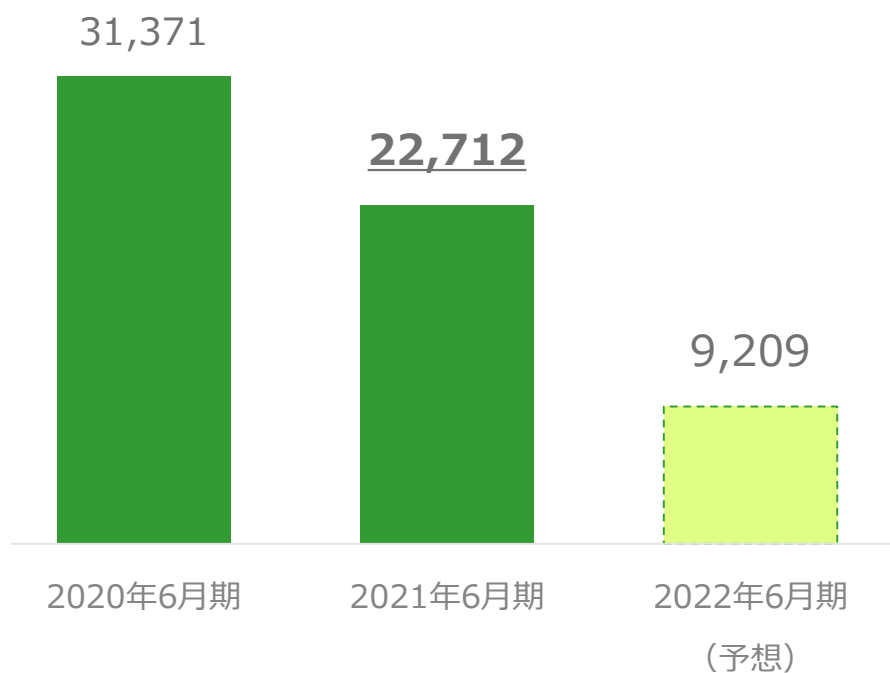
営業・サポートの強化

**TEMAIRAZUの
機能強化**

セグメント利益（全社共通費配賦後）

前期比

△59.4%を予定

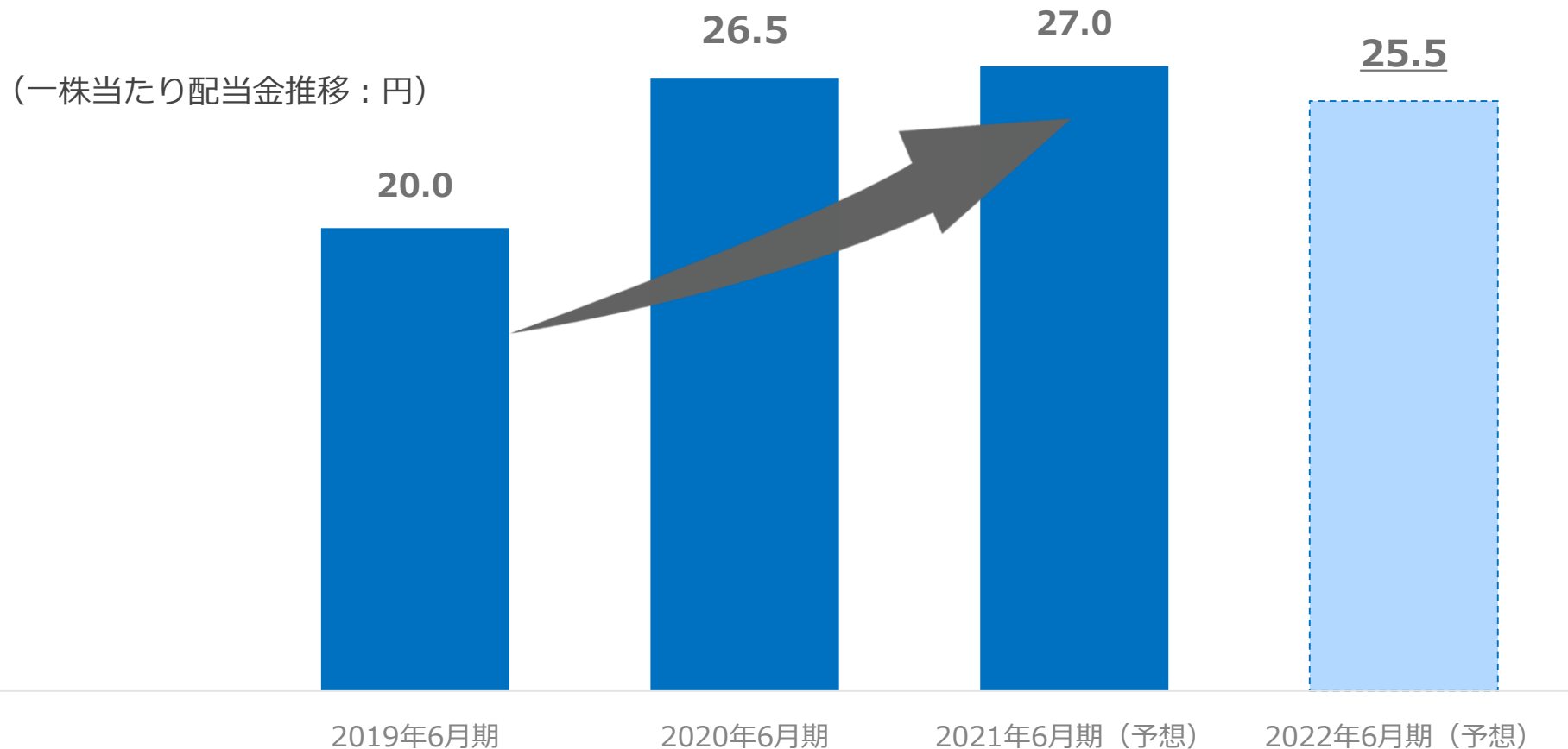


(単位：千円)

- ・コンテンツ及びユーザーインターフェイスの改善
- ・モバイルユーザビリティの向上
- ・検索エンジン最適化

目標配当性向の22.5%の方針を継続

2022年6月期の配当金は、年間合計25.5円を予想



会社概要

商号	手間いらず株式会社	
英文名	Temairazu, Inc.	
設立年月日	2003年8月4日	
決算月	6月	
資本金	715,438,105 円（2021年6月30日現在）	
発行済株式数	6,479,280株（2021年6月30日現在）	
株式売買単位	100株（2021年6月30日現在）	
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3 恵比寿NRビル7F	
証券コード	2477（東証第一部）	
監査法人	有限責任監査法人トーマツ	
主要サイト	『TEMAIRAZU』 『比較.com』	https://www.temairazu.com/ https://www.hikaku.com/

決算説明資料についてのご注意

当資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しのうち、歴史的事実を含んでいないものは、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づくものであります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性もあることをご了承ください。

法律上必要とされる場合を除いて、当社は事前の予告なく、将来の見通しに関する記述を見直したり、将来の見通しの根拠となった仮定及び要因についての変更を行うことがございますので、ご了承ください。

IRに関するお問い合わせ

手間いらず株式会社 経営企画室

TEL : 03-5447-6690 Mail : ir@temairazu.com

投資家向け情報

<https://www.temairazu.com/ir/news>

プレスリリース

<https://www.temairazu.com/press>